

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	経営組織論B（Business Organization B）		
ナンバリングコード	E30205	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 応用レベル 経営学
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 年 / 後期
必修・選択区分	選択:経営経済学部 コース選択必修:情報メディア学科 情報コミュコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E013351	クラス名	-
担当教員名	阿部 裕香里		
履修上の注意、 履修条件	講義中の私語は厳禁。		
教科書	高尾義明(2019)『はじめての経営組織論』有斐閣。 上野恭裕・馬場大治(2016)『経営管理論』中央経済社。		
参考文献及び指定図書	特になし		
関連科目	経営学入門、経営組織論A（Business Organization B）		

○基本情報		
授業の目的	この授業の目的では、経営学の中でも特に「組織」に焦点を当てた授業になります。組織とは、人々が同じ目的に向かい、協力し合う協働体のことを指します。社会には、様々な組織があります。皆さんの身近にある部活、サークル、クラブ、アルバイトなども組織の1つです。経営とは、組織の運営と捉えることが出来ます。人々がやる気を持ち、共に協力し合い、組織をまとめ、軋轢ややる気の低下を防ぐにはどうすればよいのかをこの授業では、学んでいきます。経営組織論Bでは、経営組織論Aの知識を踏まえ、管理(マネジメント)の側面から困難な目標を上手く成し遂げることを学んでいきます。	
授業の概要	経営組織論Bでは、まず組織の管理・運営を考える経営学の1つの領域である経営管理論を取り扱い全体像を見ていきます。次に企業内で組織におけるモチベーション、リーダーシップ、組織構造、組織文化を扱う「内部組織のマネジメント」について学習を行います。さらに、企業外の環境や企業戦略、競争戦略、イノベーションといった「外部環境のマネジメント」について学習を行います。後半は、具体的な企業についてビジネスケースを取り上げディスカッションを行っていきます。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3)アクティブ・ラーニング	「ディスカッション、ディベート」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	組織や企業について関心を持ち、積極的に調べることが出来る。	10点		10点
【知識・理解】	経営組織論における基礎知識、専門用語、実際の企業で行われている事例についての知識を習得することが出来る。	20点	10点	
【技能・表現・コミュニケーション】	自身の知識やグループで調べた情報などを人に分かりやすく説明・発表することが出来る。	10点		
【思考・判断・創造】	教科書の知識のみでなく、自分で情報を集め、独自の考えや意見を持つことが出来る。	20点	10点	10点
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
・成績評価は、出席、授業中の発言数や発言内容、レポート内容、発表、期末テストより評価します ・課題のフィードバックは、次回以降の授業中に行います。				

○その他

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科 目 名 担当教員	経営組織論B（Business Organization B） 阿部 裕香里	授業コード	E013351
学修内容				
1. 経営管理論とはどのような学問か				
経営組織論Bでは、「管理(マネジメント)」の側面から組織について学習していきます。経営管理とは何か、何のために経営管理が必要なのか、経営管理論はどのような歴史を持ち、どのように発展していったか学習します。				
予習	経営管理、マネジメント、管理職能、管理者層、トップマネジメントとは何か。			約2時間
復習	経営管理とは誰が、何の為に、何をしているのか考えてみましょう。			約2時間
2. 企業とはどのような存在か				
現代社会において、大多数の会社は株式会社の形態になってますが、その理由は何なのか、日本とアメリカの株式会社のトップマネジメントの仕組みの違いやその背景について学習します。				
予習	株式会社、有限責任、取締役会、所有と支配の分離とは何か。			約2時間
復習	企業のホームページを閲覧し、監査役会設置会社と指名委員会設置会社を1社ずつ探してみましょう。			約2時間
3. マネジメントの誕生				
マネジメントの考え方を初めて明らかにしたテイラーの科学的管理法や人間関係論といった古典的管理論について学習します。現代企業のマネジメントとどこが類似しており、どこが違うのか考えていきます。				
予習	科学的管理法、ホーソン実験、人間関係論、古典的管理論とは何か。			約2時間
復習	身近の組織(部活動、アルバイトなど)において「人間関係」と人々の行動について考えてみましょう。			約2時間
4. 組織マネジメントの展開				
組織とはどのようなもののなのかについて学習します。組織が続いていくためにはどうすればよいのか、人間の行動や意思決定にはどのような性質があるか学習します。				
予習	組織、組織均衡論、限定合理性とは何か。			約2時間
復習	身近の組織において、共通目的・協働意欲・コミュニケーションの観点から分析してみましょう。			約2時間
5. モティベーション論				
仕事やアルバイト、勉強などに対して意欲が高い人や低い人の違いはどこから生まれるのか、リーダーとして部下や部員の意欲を向上させ、高い目標を達成するためにはどうすべきか学習します。				
予習	欲求階層説、内発的動機付け、期待理論、職務充実とは何か。			約2時間
復習	自分が最も「やる気」を発揮した出来事について、どのような要因があったか考えてみましょう。			約2時間
6. リーダーシップ論				
組織には、目標を達成させ、皆をまとめる為にリーダーが存在します。また、リーダーシップという言葉はよく耳にしますが、どのような意味があり、どうすればリーダーシップを発揮できるのか学習します。				
予習	資質論、行動論、サーバント・リーダーシップ、シェアード・リーダーシップとは何か。			約2時間
復習	リーダーシップがあると感じた人はどのような人物であり、どのような行動をしていましたか。			約2時間
7. 組織構造のマネジメント				
企業が事業活動を行うためには組織を作る必要があります。どのような組織を作ればよいのか、組織を作ることや組織が変化することについて学習していきます。				
予習	組織構造、官僚制組織、職能別組織、事業部制組織、マトリックス組織とは何か。			約2時間
復習	組織図を企業のホームページから探し、どの組織形態に近いと考えてみましょう。			約2時間
8. 組織文化のマネジメント				
組織が違っていると仕事の進め方に大きな違いがあることがあります。組織文化とはどのように作られるのか、自分達にとって「当たり前」の考え方や振る舞いを変えるためにはどうすればよいかが学習していきます。				
予習	組織文化、下位文化、強い文化、当たり前とは、文化の変革とは何か。			約2時間
復習	日本文理大学や所属する部括、ゼミの文化について分析してみましょう。			約2時間

○授業計画	科 目 名	経営組織論B（Business Organization B）	授業コード	E013351
	担当教員	阿部 裕香里		
学修内容				
9. 経営組織の環境適応				
企業はどのような経営環境のもとで経営を行っているのでしょうか、また、どのように環境に対応していかなければならないのかについて学習します。				
予習	経営環境、機械的組織、有機的組織、分化と統合、コンティンジェンシー理論とは何か。			約2時間
復習	興味がある企業を1つ選び、その企業が取り巻く環境についてどのように状況にあるか調べてみましょう。			約2時間
10. 企業戦略のマネジメント				
企業が競争に勝ち抜き、成長を続けていくためには、戦略が必要になります。企業戦略とは何か、どのような考え方が必要になるのかについて学習します。				
予習	部分的無知、シナジー、成長ベクトル、PPMとは何か。			約2時間
復習	興味がある企業を1つ選び、企業のホームページから中期経営戦略を調べてみましょう。			約2時間
11. 競争戦略のマネジメント				
企業により獲得する収益は大きく異なります。なぜ獲得する収益に差が生じるのかといった観点から企業の競争戦略について学習します。				
予習	競争優位、業界構造分析、コンピタンス、ケイパビリティ、基本戦略とは何か。			約2時間
復習	最近ヒットしている製品・サービスを考え、どのような差別化が実現出来ているか考えてみましょう。			約2時間
12. ビジネスケース①				
具体的な企業のケースについて学習を行います。事前にビジネスケースに関する資料を予習しておきディスカッションを行います。				
予習	ビジネスケースに関する配布資料を読んでくる。			約2時間
復習	なぜ取り扱った企業のケースが優れているのか考えてみましょう。			約2時間
13. ビジネスケース②				
具体的な企業のケースについて学習を行います。事前にビジネスケースに関する資料を予習しておきディスカッションを行います。				
予習	ビジネスケースに関する配布資料を読んでくる。			約2時間
復習	なぜ取り扱った企業のケースが優れているのか考えてみましょう。			約2時間
14. ビジネスケース③				
具体的な企業のケースについて学習を行います。事前にビジネスケースに関する資料を予習しておきディスカッションを行います。				
予習	ビジネスケースに関する配布資料を読んでくる。			約2時間
復習	なぜ取り扱った企業のケースが優れているのか考えてみましょう。			約2時間
15. ビジネスケース④				
具体的な企業のケースについて学習を行います。事前にビジネスケースに関する資料を予習しておきディスカッションを行います。				
予習	ビジネスケースに関する配布資料を読んでくる。			約2時間
復習	なぜ取り扱った企業のケースが優れているのか考えてみましょう。			約2時間
16. 期末試験				
第1回～第15回の内容についてテストを行う。				
予習	第1回～第11回における基礎知識、キーワードの理解、ビジネスケースの確認			
復習	テストで自分が解けた点、解けなかった点について見直し、再度確認する。			